

令和元年度大阪府立鳳高等学校学校運営協議会（第1回）記録

日時 令和元年7月17日（水）14:00 ～ 15:30
場所 本校 校長室
出席者 神代委員、神田委員、甲斐委員、福喜多委員、鈴木委員
校長、教頭、事務長、首席

1 校長挨拶

- ・昨年度は3年計画の最終年度であったが、今年度は次の3年間を見通した計画としている。本日はそのことを中心にご議論いただき、ご意見をいただきたい。

2 会長・副会長選任

- ・会長に蒲生委員、副会長に神代委員を選出した。

3 協議

(1) 平成30年度学校経営計画に基づく取組状況報告及び自己評価について

- ・昨年度第3回の協議会でいただいた以下のような意見を踏まえ、平成31年度の計画を立てた。
 - ・単位制や学校教育の柱について、わかりやすく示す工夫をすべきである。
 - ・コミュニケーション力、リーダーシップを育成していくべきである。
- ・達成状況を記号で示している。個々の項目で見ると目標以上や不十分なものはあるが、全体としては計画通り進んでいると考えている。

<高い評価>

- ・科目選択、ガイダンス、進路行事、学校行事等
- ・授業アンケートによる評価は府全体で見ても高めと思われる。

<課題>

- ・家庭での学習時間確保
- ・教員のICT機器の活用
- ・効率的な学校運営

(2) 平成31（令和元）年度学校経営計画について

- ・昨年度本協議会第3回のご意見を踏まえ、一部文言を修正
 - ・めざす生徒像をシンプルにわかりやすくするとともに、キャッチフレーズもパンフレットで用いている文言に変更
 - ・「社会人基礎力」に示されているような力を育成する形に整理
- ・大学入試改革や学習指導要領改訂を見据えてカリキュラムの検討を進める。
- ・授業の充実を図るための環境整備等を継続していく。
- ・学校行事や部活動の見直しにより、コミュニケーション力の育成や行事等の充実につなげる。
- ・学校運営や校務の効率化を進めるための研究、環境整備、取組みを行う。

(委員) 特に力を入れていこうと考えていることは何か。

(学校) 生徒の主体性を高めるための行事等の検討・充実とともに、本計画を進めるための予算確保や環境整備が中心となる。

- (3) 平成30年度卒業生の進路状況について
- ・全体としては大きな変化はない
 - ・私立大学が合格者数を絞り込んだ影響を受けている
 - ・国公立大学の進学者数は大きな変化はないが、進学先に変化がみられる
(近畿圏の大学全体で志願動向に変化があり、その影響と考えられる)
- (4) 平成31年度入学者選抜の結果について
- ・志願者倍率が上昇
 - ・合格者のほとんどが旧第8学区内の中学校卒業生
 - ・令和2年度入学者選抜に係るアドミッションポリシーは学校経営計画に沿う形に文言を変更
 - ・令和2年度の問題選択については、数学をB問題からC問題に変更
- (5) 令和2年度使用教科書の選定について
- ・教科書採択要領に基づき、教科用図書選定委員会を設置して、教科書を選定したことを報告

4 意見交換等

- (委員) 旧第9学区からの志願者が減少していることについて、どう分析しているのか
- (学校) 部活動のことを考えると、遠い学校は選択しづらい。第8学区だけでなく、第9学区内でも地元志向が進んでいる
- (委員) 浪人の国公立大学合格者が減少しているように見えるが。
- (学校) 経済的な面での影響もあると思われる。
- (委員) 自宅から通学できる大学を選択する傾向が強くなっている。
- (委員) 和歌山大学が増えているのはなぜか
- (学校) 「安全志向」による志願動向の変化が大きい
- (委員) 「普通科単位制」「単位制普通科」は表記を統一した方がよい
- (委員) いわゆる文系・理系の比率は？
- (学校) 大まかに言うと、理系が3割、看護系1割、文系6割程度。
- (委員) 科目選択は自分が目指す進路を想定して行うのか
- (学校) 1年次から進路について考えるようにしている。学校から情報提供するだけでなく、自分で調べたり大学に行ったりして、早い段階から意識を高められるようにしている。社会に出ると文系・理系と明確に分けられない部分もあり、単位制の在り方について検討が必要であることも事実。
- (委員) 教員の時間外勤務等はどういう状況か。
- (学校) 学校全体の平均としては、2年前より昨年度は減少しているが、部活動や講習などを放課後や土日に熱心に行っている教員もいる。
- (委員) 生徒の学校選択にとって部活動も大きな要素なので、部活動を切り離すということも難しいだろう。
- (委員) 長時間勤務による職員の健康面は大丈夫なのか。
- (学校) 今後、産業医が長時間勤務の教員、健康診断結果の気になる教員を重点的に面談することになっている。また、専門家に学校施設や安全管理について指導助言をしてもらう予定である。
- (委員) アドミッションポリシーの中に「本校の単位制のシステムを十分に理解」とあり、経営計画の中に「単位制の優位性を生かしたガイダンス」とある。ここが鳳高校の最大の特徴であるが、中学生にどうわかりやすくPRするのか。鳳高校が面白そうだなと感じさせるような説明をどうするのか。

- (学校) 入学する段階で単位制について完全に理解しているということまで求めているわけではなく、入学してから実際に科目選択を経験する中で分かっていく部分もある。1年次から進路や科目選択について考えなければならない学校であるということが分かっているならば、最終的には自分の進路をはっきりと決められるようになっていく。
- (委員) 自己申告書はアドミッションポリシーを踏まえて書かれているものなのか。
- (学校) 自己申告書に示されているテーマは、中学校で何を経験し何を学んだか、また、それを高校でどう生かすかということなので、アドミッションポリシーを踏まえて書くことは難しいと思われる。
- 高校入試で自己申告書を提出するように、大学入試でも高校での様々な学びや活動記録を提出したりすることが求められるようになってきている。これも難しい問題である。
- (委員) 採用する側としては、書いたものと面接の内容で、本気なのか、言葉だけなのかは分かる。形だけでなく、どれだけ本人の信念のようなものが伝わってくるのかが大切ではないか。
- (委員) 遅刻総数が減少したのはなぜか。
- (学校) 普段の服装等の生活指導が落ち着いてきて、遅刻に関する指導に力を注げるようになってきたことが大きい。また、教員や保護者の意識も変わってきたこともある。
- (学校) 公務や会議の効率化、ペーパーレス化などで、それぞれの所属で取り組んでいることなどがあればご教示願いたい。
- (委員) 公務や会議の効率化には、前捌きが最も大切。ここがしっかりしていないと、「時間ばかり費やして結論が出ない」ということになる。ペーパーレスは実際のところ難しい。
- (学校) 校内掲示板や共有フォルダで資料を共有することなどの試みを進めており、見てくれる人も増えてきている。
- (委員) 100周年が近づいているが、準備の状況は？
- (学校) 大卒の検討が進んでおり、秋には実行委員会を設置し、2月には同窓会報を通じて寄附の依頼とともに案内する予定。ICT機器や空調の整備等を考えている。

5 その他

- ・次回以降の開催について

第2回 令和元年11月

第3回 令和2年2月13日(木) 午後1時30分～

(スピーチコンテスト参観を含む)